



## 「めいっばい！」～道川分教室学習発表会～

10月27日、学習発表会を行いました。本ホームページのトピックでも紹介しています。感染症予防対策により児童生徒・職員での実施でしたが、校長先生の来場が可能となり、会場での挨拶と鑑賞をしていただきました。児童生徒は、校長先生と直接関わることができ、大変うれしそうな様子でした。

発表会には、本校（ゆり支援学校）音楽部からDVDで演奏を届けてもらったり、前教頭先生から手紙でメッセージをいただいたりし、花を添えていただきました。多くの方々からの温かい応援に感謝しています。

発表では、タイミングよく手を動かし紐を引っ張る、自分の発想と言葉で演じる、場面に応じてタイミングよく台詞を話すなど、みんな自分たちのもっている力をめいっばい発揮し、素敵な発表を見せてくれました。

「人は手持ちの力を最大限発揮して、初めて次の力が付いてくる」という言葉を聞いたことがあります。めいっばい頑張った、分教室の面々の今後の学習が楽しみです。

この「めいっばい」を支えるために、教師もこれまでの授業づくりの成果を生かしながら、指導や支援にあたりました。

- ・学習発表会を題材のクライマックスとした、ストーリー性のある指導計画
- ・読み聞かせ等による、演目へのイメージを膨らませたり、見通しをもたせたりする工夫
- ・児童生徒の得意な動き生かした活動場面の設定と、動きを支えるため教材・教具の開発
- ・児童生徒の表現を支える関わり方の工夫（誘いかけ方、「間」の取り方、立ち位置等）等々・・・

学習発表会を契機とし、児童生徒がめいっばいの力を発揮できた背景を丁寧に探り（検証し）、児童生徒の新たな学びへ生かしていきたいと考えています。

育つこと、学ぶことの意味 ～「力を身につけること」と「身につけた力を使うこと」～

人は何のために力を伸ばすのか問うてみます。当たり前すぎることで、問うのもおかしいと言われるかもしれませんが、それにあえて答えるとすれば、力を伸ばすことで、その伸ばした力を使って、それまでできなかったこともできるようになるからです。それまでなかった新しい力が身につけば、その力を使ってあらたな世界が広がる。だからこそ、力を伸ばすこと、あらたな力を身につけることが大事になるんですね。

そう考えれば「力を伸ばす」ことは、「この身につけた力を使って生きる」ということとセットではじめて意味をもつということになります。（略）

浜田寿美男 他 2008「赤ずきんと新しい狼のいる世界

—子どもの安全・保護と自立のはざままで— 洋泉者

\*本ホームページ内のトピック「R3年度 学習発表会（旧道川分教室まつり）」も、併せてご覧いただければ幸いです。